

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	管外保育所児童委託
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	31	03	02	04	23	管外保育所児童委託費

事業期間	令和元年度 ～ 令和6年度	事業終期	令和7年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	11,347	0	0	0
県補助	0	5,776	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	8,300	0	0	0
一般財源	0	7,493	0	0	0

補助事業名	子どものための教育・保育給付交付金 子どものための教育・保育給付費負担金
-------	---

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	管外委託人数の維持				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 20	(目標値) 19	(目標値) 18	(目標値) 17	(目標値) 16
実績値	(実績値) 20	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	3	2	1	3
二次評価	5	2	2	1	4

事業の実施理由	管外施設は市民が優先されることが多いため、希望施設に入所ができない場合は町内施設の受入れ枠の通年確保が必要。
---------	--

事業の概要	管外保育所(町外保育所)に児童を委託する委託料。 令和7年度当初見込みは、公立施設へ2人、私立保育園へ4人、認定子ども園へ10人、事業所内保育施設へ1人の計17人となっている。
-------	---

事業の課題	管外施設は市民が優先されることが多いため、希望施設に入所ができない場合は町内施設の受入れ枠の通年確保が必要。
-------	--

今後の方針	引き続き、管外施設の申請を受けた場合には管外市町村へ随時協議する。
-------	-----------------------------------

【1次評価結果】

評価点計		
11	[コメント] 毎年管外施設を希望者が存在するため、来年度以降も引き続き保育ニーズに応じていく必要がある。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計		
14	[コメント] 町単独事業ではない。継続の必要あり。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	保育料無償化事業
------	----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	33	02	04	37	3	保育料無償化事業

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	720	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	支給人数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 12	(目標値) 12	(目標値) 12	(目標値) 12
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	3	2	3	3
二次評価	5	3	2	1	4

事業の実施理由	認可外保育施設を無償化することで、認可を問わずに保育施設を選択することができる。
---------	--

事業の概要	保育料無償化に伴う、管内認可外保育施設（こかの保育園）に通園する園児の保護者への交付金。令和7年度当初の見込みは町在住が10人となっている。
-------	--

実施により見込まれる効果	認可外保育施設を無償化することで、認可を問わずに保育施設を選択することができる。
--------------	--

実施による成果	認可外保育施設に通園する園児の保護者より申請を受け、保育料を無償化にできている。
---------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
13	県内で同様の事業を実施している自治体の特徴として「補助額の上限有り」「認可外は対象外」とあるが、当町における無償化事業は施設制限や上限金額を定めていないため、手厚い内容と言えるのではないかと。来年度以降も同内容で継続したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	町の方向性として継続する必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止した方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・誇れる施策の一つとして、小鹿野町として大いにPRすべきと思います。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果 現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	おがのこども園Englishプロジェクト
------	----------------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	34	03	02	05	12	おがのこども園Englishプロジェクト

事業期間	令和6年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,575	1,946	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	英語に関する興味を持つ子どもの割合				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0.8	(目標値) 0.9	(目標値) 0.9	(目標値) 0.9	(目標値) 0.9
実績値	(実績値) 0.91	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	113.8%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	5	4
二次評価	5	3	2	5	4

事業の実施理由	小学校低学年で英語の授業がない。
---------	------------------

事業の概要	おがのこども園に英語を母国語とする職員の配置及び英語に関する消耗品の購入。
-------	---------------------------------------

事業の課題	小学校低学年で英語の授業がない。
-------	------------------

今後の方針	今後も継続して実施し、小学校でも継続して行えるよう学校教育に対しても要望していきたい。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計		今後の事業方針
19	[コメント] 保護者アンケートにおいても今後も続けて欲しいという意見が大半であり、多くの子どもたちが英語に関する興味を持ったと回答している。今後も継続して実施したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計		今後の事業方針
19	[コメント] 一次評価と同様	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

				【コメント】
0…廃止した方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	・良いことだが町外に向けてのPRをしてもらいたい。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㉠ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	通学費助成事業費
------	----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	27	03	02	01	73	通学費助成事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	5,100	5,100	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	60	60	0	0	0
補助事業名					

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	申請者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 200	(目標値) 200	(目標値) 200	(目標値) 200	(目標値) 200
実績値	(実績値) 148	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	74.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	3	3	4
二次評価	5	4	3	3	4

事業の実施理由	申請対象を年度中のものとしているが、申請期日を過ぎてからの申請が数件みられた。また、同一申請者による重複申請があった。
---------	---

事業の概要	町内から町外の高等学校へ、町外から小鹿野高等学校に通学する生徒へ通学費を助成する。また、町内から町外の中学校へ通学する生徒も助成の対象とする。 【補助額】 上限額：月額5,000円
-------	---

事業の課題	申請対象を年度中のものとしているが、申請期日を過ぎてからの申請が数件みられた。また、同一申請者による重複申請があった。
-------	---

今後の方針	制度の詳細について、周知を徹底する。また、重複支給を防ぐため、過去の申請状況については、入念に確認を行う。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	上限額を5,000円に増額後、有り難いとの声を多く耳にする。また、電子申請件数も増加していることから、今後も継続して実施していきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	公共交通機関が充実していない当町においては、通学費の支援は効果が大きい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	子ども議会開催事業
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	97	09	01	02	18	子ども議会開催事業

事業期間	令和7年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	子ども議員参加率(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 90	(目標値) 95	(目標値) 95	(目標値) 95
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	4	4
二次評価	4	2	2	1	3

事業の実施理由	小鹿野町民としての自覚と郷土を愛する心を育成することにより、小鹿野町の将来を担う若者を育てることにつながり、結果として、地域全体の活性化にも寄与することが期待できる。
---------	---

事業の概要	小鹿野中学校の生徒による子ども議会を開催する。生徒全員参加型とし、議会はクラスごとに順次時間による入れ替え制とする。 開催日：令和8年3月10日 子ども議員：中学3年生 ・議長3名(各クラス1名) (3クラス) ・議員(質問者)9名(各クラス3名)
-------	---

実施により見込まれる効果	小鹿野町民としての自覚と郷土を愛する心を育成することにより、小鹿野町の将来を担う若者を育てることにつながり、結果として、地域全体の活性化にも寄与することが期待できる。
--------------	---

実施による成果	令和8年3月10日実施予定。
---------	----------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
20	今年から新たに実施する事業であり、小鹿野町の未来を担う若者に、小鹿野町民としての自覚と郷土を愛する心を育成するための必要な事業であり、継続は必須であると考えます。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
12	今年から実施の事業であるが、小鹿野町の未来を担う若者に、小鹿野町への愛着や将来に目を向けてもらうために有効な事業であり、事業費もほとんど掛からないことから、継続して実施していくべき事業であると考えます。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

評価項目	評価	コメント
0...廃止の方がよい	0	【コメント】 ・子供議会とは分野が異なるが、同様の目的で町民の議会見学を積極的に推進していただきたい。(例えば、各地区の区長と相談し〇月議会は〇〇地区から傍聴参加バスを出すなど)町の職員や議会議員が日頃から懸命に取り組んでいることを、町民に如何に知らせ、町の課題や対策への関心を高く持ってもらうことは大変重要であると考えます。「広報おがの」「議会だより」だけでは望ましい町民の育成はできないと考えます。これもこの項目とは違うが「議会だより」の綴じ方向を「広報おがの」に合わせてもらいたい。保管上不便だという声をよく聞く。
1...事業自体見直し	0	
2...事業内容見直し	0	
3...他事業と統合検討	0	
4...現状維持	7	
5...事業拡大	0	
外部評価結果		
現状維持		

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊶ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	小中学校英語指導助手派遣費
------	---------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	98	09	01	02	27	小中学校英語指導助手派遣費

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,188	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	対象客体は人材配置事業であるため目標値等無し				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
目標値	0	0	0	0	0
	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
実績値	0				
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	4	2	1	4
二次評価	4	4	2	1	4

事業の実施理由	「かがやく未来へ おがの人づくり【3-2 学校教育の充実】」における(2)心と体の育成」内の「④グローバルな人材の育成」実現のため。
---------	--

事業の概要	児童生徒の英語力向上および国際理解の促進を目的として、外国語指導助手(ALT)を小中学校に派遣する。ALTの活用により、児童生徒に実践的な英語学習の機会を提供することで、児童生徒の英語への興味・関心を高め、コミュニケーション能力の育成を図る。
-------	---

事業の課題	(授業に係る課題)・担当教諭との打合せ時間の確保。(授業以外でのALTの活用方法。(直接雇用に係る課題)・安定的な人材確保
-------	---

今後の方針	小学校における教科担任制の推進により、英語指導専科の教員を配置することとで、打合せ時間を確保する。また海外交流事業の展
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	14	[コメント] 統合により、町内の学校数は減少したが、継続してALTを2名配置出来たことにより、児童生徒がALTと関わる機会を増やすことが出来た。事業継続により、町が目指す「グローバル人材の育成」を推進していきたい。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【2次評価結果】

評価点計	15	[コメント] 英語が日常の中にある現在において、幼少期の頃から英語に触れることは大切であり、授業におけるアクティブラーニングを実施する上でもALTの配置は必須である。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	[コメント] 町内に英会話が実践できる場(店・旅館・役場窓口・施設など)づくりを進め、授業で覚えたことを実行動で試せる環境づくりをしたい。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

※委員1名未評価

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	修学旅行運営事業
------	----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	99	09	01	02	31	修学旅行運営費

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	771	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	修学旅行(児童・生徒)参加率(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値) 0.98	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0
達成率	100.0%	0.98%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	2	4	4
二次評価	5	2	3	4	4

事業の実施理由	保護者の経済的負担軽減のため
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 小学校：6年修学旅行のバス代及び乗務員宿泊料の補助金 中学校：3年生修学旅行費に対して、1人当たり30,000円の補助金交付 【必要経費】 小学校：修学旅行大型バス2台借上料650,496円 添乗員2名22,000円 中学校：@30,000円×90人=2,700,000円
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 年数が経過することにより、保護者等にとって補助事業の実施が当たり前になり、「子育て支援の町」の印象が薄くなる懸念される。 中学3年生の保護者等への補助金交付が、事務手続き上、修学旅行の2ヶ月後くらいになってしまう。(修学旅行実施前に交付できると良い) 中学3年生の保護者等へ個々に補助金交付処理を行っているため、事務量が多く、振込先口座番号や金額などの入力ミスも起こりやすい。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の手厚い町として、これまで以上にアピールを行い、若者世代の町外流出の歯止め及び町への移住定住希望者の魅力につなげていく。 現在、中学3年生の保護者等は、一旦修学旅行費全額を負担し、後から補助金の交付を行っているが、集金段階で補助金分を減じた金額で集金できる方法を検討していく。

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
17	家庭の経済的負担を軽減することで、子育て支援には貢献できている。一方で事務処理の負担は大きいものであるため、事業を継続しつつ事務処理の効率化を考える必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	小中学校9年間の保護者負担において、修学旅行費は非常に大きなものであり、子育て支援を行う町として、保護者の負担軽減に寄与する当該事業は、今後継続していくことが必要である。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

意見内容	回数	意見内容	回数	【コメント】
0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	・家庭事情で就学旅行に参加できなかったとしたら一生わすれられぬ傷であり、卒業後の同窓生の付き合いに大きく影を落としかねません。この制度も小鹿野町の自慢のひとつとして大いにPRすべきです。旅行実施前に支給できるようぜひとも工夫をお願いします。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	5	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊶ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	学校教育支援事業(おがのことだま百選)
------	---------------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	100-1	09	01	02	35	学校教育支援事業(おがのことだま百選)

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標 (KPI)・実績値】

項目	「おがのことだま百選」級別合格者数(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 42	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	42.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	2	2	4
二次評価	5	2	2	2	4

事業の実施理由	暗証活動により自信を高め、児童の自己肯定感の高揚を図るため。 本冊子を親子での学習機会とすることや、暗唱の評価者として地域の方に協力をしてもらうことで、保護者、地域の方との共学の機会とするため。
---------	--

事業の概要	よい言葉やリズムカルな文章など、児童に出会ってほしい名文や美しい言葉を「おがのことだま百選」として冊子にまとめ、小学校や家庭での暗唱活動に取り組む。
-------	--

事業の課題	小学校での暗唱活動並びに、全学年で継続的に取組ができていない。また、地域の方に暗唱活動の評価者として協力いただいたり、
-------	---

今後の方針	ことだま百選への取組を、地域に対して更に広く周知し、世代を超えて親しむことができるようにする。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	小学校での暗唱活動を中心に、家庭や地域との繋がりができ、児童生徒と家庭・地域との共学の実現ができていない。今後も、地域の特色ある教育活動となるよう、事業継続していくことが望ましい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	詩や諺などの様々な名文を低学年から学ぶことは、児童のスキルアップだけではなく、自信や集中力の向上にも期待できる。また、家庭内でのコミュニケーションの材料にもなりえるものであり、今後も事業を継続していくことが望ましい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	5	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	学校教育支援事業(おがの輝きスクール)
------	---------------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	100-2	09	01	02	35	学校教育支援事業(おがの輝きスクール)

事業期間	令和5年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	240	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	おがの輝きスクール相談・通級等利用児童生徒の改善割合(改善者数/利用者数)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 50	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	50.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	4	2	4
二次評価	4	3	4	1	4

事業の実施理由	学校に行けない児童生徒に安心できる居場所を提供し、学校復帰や社会的自立を目指した学習・心理的な支援を行うなど、増加する不登校傾向にある児童生徒の状況に対応するため
---------	---

事業の概要	小鹿野町内在住の小学生・中学生の悩みや心配 ごとについて、保護者の方や本人、関係者の相談を受け支援をする。また、学校に行けない児童生徒の居場所として提供し、個にあわせた活動を設定し支援を行う。
-------	--

事業の課題	対象児童生徒の悩みや心配内容が多様化する中で、様々な支援の要望が増加している。そうした中、相談・支援に対応する体制のさらなる強化が必要である。
-------	---

今後の方針	個別指導や活動を通して自信を育み、家庭や地域とも連携して包括的な支援を行うことで、多様な学びの機会を保障できるよう整備を行う。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	学校に登校できない児童生徒・保護者に対し、必要な支援を行うことができている。今後、支援の多様化や増加も考えられることから、改善を図りながら事業継続を行っていく必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	適応指導教室(おがの輝きスクール)の指定は例規上必須であり、学校に登校できない児童生徒等が実際に利用する際の利用しやすさを考えた施設であるため、今後も事業継続を行っていくべきである。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	学校教育支援事業(オンライン学習通信環境整備補助金)
------	----------------------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	100-3	09	01	02	35	学校教育支援事業費(オンライン学習通信環境整備補助金)

事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	30	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	オンライン学習通信環境整備補助金申請者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 3	(目標値) 3	(目標値) 3	(目標値) 3
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	0.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	3	1	2
二次評価	4	2	2	2	2

事業の実施理由	令和4年度より小学校新一年生の保護者を対象に文書により案内を行っているが、令和5年度、6年度と2年連続実績が0件である。
---------	--

事業の概要	オンライン学習におけるインターネット環境が未整備の保護者に対して、インターネット環境の整備に要する費用の一部を上限1万円補助する
-------	--

事業の課題	令和4年度より小学校新一年生の保護者を対象に文書により案内を行っているが、令和5年度、6年度と2年連続実績が0件である。
-------	--

今後の方針	令和5年度と6年度の実績が0件なのが、全ての保護者のインターネット環境が整備されたためなのか検証を行ったうえで、事業継続の判断をするべきと考える。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
13	補助事業の目的(保護者家庭のインターネット環境整備)を達成したかを検証のうえ、事業継続を検討する必要がある。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
12	過去2年利用者がいないので、事業としての積極的なPRは今後検討する必要がある。予算としては低額であるため、もし利用希望者が出た場合でも対応可能であると考え。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	[コメント]
1...事業自体見直し	2	4...現状維持	3	・目的達成(制度利用しなくてもインターネット環境が全員に行き渡っている)して利用希望者がいないのか、何らかの障害があつて(例えば保護者の無理解)申し込めないのか、十分調査を行って方向を定めていただきたい。 ・インターネット環境が保護者に100%整っているからなのか？
2...事業内容見直し	2	5...事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (十分な調査を実施し継続事業とするか検討する)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和5年度より申請が0件である。全ての保護者世帯にインターネット環境が整備されているとは言いきれないが、インターネット環境がない世帯については代替の手段を案内しているため、令和8年度より予算計上せず廃止予定とする。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	スクールバス運行事業
------	------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	101	09	01	02	68	スクールバス運行費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	27,429	0	0	0	0
補助事業名					

【評価指標 (KPI) ・実績値】

項目	安心・安全なスクールバス運行事業(事故、トラブル、クレーム等で減点)(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 98	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	98.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	4	4	4
二次評価	5	4	4	4	4

事業の実施理由	遠距離通学児童生徒への通学時間の短縮と安全確保のため	
事業の概要	【小学校】R7年度の町内4小学校の統合に伴い、長若、三田川、両神地区等の児童は、原則スクールバスによる登下校の送迎を行う。 【中学校】原則として、小鹿野中学校から4km以上の距離にある生徒について、スクールバスによる登下校の送迎を行う。	
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスを複数台(小学校7台、中学校6台)運行するため、事業費が膨大となる。 ・小学校の児童において、自宅と乗降場所間の安全の確保の方法 ・児童生徒(保護者)、学校、バス運転手(事業者)の三者間での連絡のやりとりが現状として大いに負担となっている。 ・小学校は、奈倉及び泉田地区の一部をSバス対象としているため、境界近くで乗れない保護者からの不満がある。 	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒(保護者)、学校、バス運転手(事業者)の三者間での連絡方法について、デジタル通信等を活用した、迅速で正確な方法を検討する。 ・児童生徒の減少に伴い、必要車両数も減少することが見込まれるため、経費削減を行っていく。さらに空いた時間帯での車両の別利用等を検討する。 ・将来的に小中学校兼用のSバスを検討していく。 ・奈倉泉田方面のSバス対象者の境界をバスの乗車人員によって毎年見直していく。 	

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	小中学校が統合した現状にあつて、必要な対応である。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	小中学校が統合し、一定通学距離がある児童生徒に対して実施しなくてはならない事業。経費が膨大であるため、可能な範囲で圧縮・削減していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	4	・効率化を進めて経費削減を強化してもらいたい。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	2	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	GIGAスクール構想実現事業
------	----------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	103	09	01	02	89	GIGAスクール構想実現事業

事業期間	令和7年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	666	0	0	0
県補助	0	22,256	0	0	0
地方債	0	15,900	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	14,478	0	0	0

補助事業名	公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金(GIGAスクール構想支援体制整備事業) 埼玉県公立学校情報機器整備事業費補助金(公立学校情報機器購入事業)
-------	---

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小学校において「調べる場面」で端末を週3回以上活用する割合(GIGAスクール構想実現に向けた進捗状況等に関する調査より)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 47	(目標値) 70	(目標値) 100	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 47	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	2	2	1	5
二次評価	4	2	2	5	4

事業の実施理由	第一期で整備したICT環境の基盤を更新・強化し、児童生徒の個別最適化された学びを推進することができる。
事業の概要	GIGAスクール第二期(NEXT GIGA)に対応した環境を整備するため、児童生徒のタブレット端末の更新やネットワークの見直しを行う。
実施により見込まれる効果	第一期で整備したICT環境の基盤を更新・強化し、児童生徒の個別最適化された学びを推進することができる。
実施による成果	児童生徒の個別最適化された学びの実現

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	文部科学省が推進する事業であり、活用できる補助金の時限があるため目標期間内に達成する必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	5年前の初期導入から、今回第二期(NEXT GIGA)として児童生徒のタブレット端末の更新やネットワークの見直しを行うものである。次回第三期に向けてはタブレット端末のスペックやネットワークの状況により、更新見送りも検討する。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	義務教育支援事業費
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	104	09	01	02	97	義務教育支援事業費

事業期間	平成21年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	31,980	0	0	0	0

補助事業名	小鹿野町立小・中学校義務教育支援事業費補助金
-------	------------------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	児童・生徒の保護者への補助率(%) [小鹿野町就学援助費支給対象者除く]				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	5	4
二次評価	5	4	3	5	4

事業の実施理由	教材費は全児童・生徒が必ず購入することになっている準教科書、副読本的図書、ワークブックなどに要する費用であり、そろばん、ハーモニカ、笛、書道用具、家庭科教材などは対象となっていないため、完全な無償化ではない。
---------	--

事業の概要	義務教育に要する費用(児童・生徒に係る教材費)について一定の補助金を交付し、保護者の経済的負担を軽減する。令和6年度までは給食費も全額補助していたが、令和7年度から給食費は全額免除としたので、令和7年度からは教材費のみ予算計上となる。
-------	---

事業の課題	教材費は全児童・生徒が必ず購入することになっている準教科書、副読本的図書、ワークブックなどに要する費用であり、そろばん、ハーモニカ、笛、書道用具、家庭科教材などは対象となっていないため、完全な無償化ではない。
-------	--

今後の方針	引き続き、保護者の経済的負担を軽減することにより子育て支援を推進していく。
-------	---------------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	保護者の経済的負担を軽減する子育て支援としてはもちろん、負担軽減により教育の進展に寄与することも踏まえ、継続して実施する事業であると考えます。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	子育て支援の町としての代表事業で、給食費の無償化は、全国的にも先駆けて実施した。R7年度より給食費は「免除」となったが、教材費の一部の補助事業については、引き続き行っていくべきと考えます。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	4	・町外へのPRも強化すべき。 ・そろばん、ハーモニカ、笛、書道用具、家庭科教材、などが、家庭事情で安価な品物を与えられた生徒は、授業でそれを使うたびに仲間から無言の嘲笑を受け、数年間劣等感にさいなまれる可能性がある。 これまでの保護者の経済的負担軽減という目的から「子供の健全な育成のため全教材の補助」とフェーズをあげて再考すべきである。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	2	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	学校施設整備費
------	---------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	105	09	02/03	01/01	26/46	学校施設整備費学校施設整備費

事業期間	令和6年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	43,214	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	開校している小中学校体育館の空調整備率				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 100	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	4	1	4
二次評価	2	2	4	1	4

事業の実施理由	大規模な施設整備は事業費が高額になるため、町単独では困難である。国庫補助金等の活用を併せて検討する必要がある。
---------	---

事業の概要	児童生徒が安心安全で充実した学校生活を過ごすために必要な施設整備を行う。
-------	--------------------------------------

事業の課題	大規模な施設整備は事業費が高額になるため、町単独では困難である。国庫補助金等の活用を併せて検討する必要がある。
-------	---

今後の方針	令和8年度の夏までに小鹿野小学校、小鹿野中学校第一、第二体育館の3施設に空調を整備する方針である。その他、施設整備の優先度や国等からの補助金の動向を見ながら適切な整備を進めたい。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
13	児童生徒が安心安全で充実して過ごせる学校環境の実現のために継続が必要な事業である。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
13	鹿小周辺整備工事が終了し、小中学校体育館空調設備工事も今年度実施予定であり、今後の予定は鹿中第一体育館照明LED化工事(残り2/4回)のみ。しかしながら各学校施設の老朽化も進んでいることから、今後も整備が必要となることが予想される。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・空調の整備は熱中症対策のためにも早期の対処が必要では？
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	生徒通学用ヘルメット購入事業
------	----------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	107	09	03	01	41	生徒通学用ヘルメット購入費

事業期間	平成28年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	317	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	翌年度小鹿野中学校新入生への配布率(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	4	5	4
二次評価	5	4	4	5	4

事業の実施理由	通学や長期休業中の部活動及び休日等での小鹿野中学校生徒の自転車利用について、安全を確保する。
---------	--

事業の概要	小鹿野中学校の新入生徒分のヘルメット購入費を町で全額負担する。
-------	---------------------------------

事業の課題	小鹿野中学校新入生徒全員に町費用で購入したヘルメットを配布するが、一度も使用しない生徒もいる。
-------	---

今後の方針	小鹿野中学校生徒の登下校時等の安全を確保するため、今後も継続して事業を実施していく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
22	小鹿野中学校生徒の自転車利用時の安全確保のため、継続して行う必要がある事業である。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
22	小鹿野中学校生徒の自転車利用時の安全確保のため、継続して行う必要がある事業である。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	・支給ヘルメットを一度も使用しない生徒の実態を聞き取り、適正な理由でなければ、安全面での町民全体の願いや・町の貴重な財政負担であることなど、きちっと指導すべきである。
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	生徒遠距離通学事業
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	109	09	03	02	39	生徒遠距離通学費

事業期間	0 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	-----------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	町からの利用料補助率(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	4	1	4
二次評価	4	2	3	1	4

事業の実施理由	平日はスクールバスによる送迎が行われているが、休日は行われていないため、部活動等で西武バスを利用して登校した際のバス代金を補助する。
---------	--

事業の概要	小鹿野中学校の生徒が部活動等で休日登校する際に利用する西武バスの運賃を助成（町営バスは減免で対応）
-------	---

事業の課題	将来路線バスが廃止となった場合を想定して、対応方法を検討しておく必要がある。
-------	--

今後の方針	利用者は少ないが、継続して毎年度予算計上していく
-------	--------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	対象者が三田川・倉尾地区の西武バス沿線の中学生であり、年間利用者数も延べ10人に満たない事業であるが、通学の安全を確保するために今後も継続が必要な事業である。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	休日に西武バスを利用して登校した際の料金を負担させないための事業であるので、年間利用者は少ないが、継続して行っていくべき事業であると考えます。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	部活動育成事業
------	---------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	110	09	03	02	43	部活動育成事業費

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	771	0	0	0	0
補助事業名					

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	補助金交付率(各部:12,000円/部+240円/人、外部指導者:1,000円/回×年間指導回数)(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	4	5	4
二次評価	3	2	4	5	4

事業の実施理由	中学生が部活動を実施する理由である①心身の成長②社会性・協調性の習得③責任感や自己管理能力の向上④興味や将来の可能性を広げることなどの目的の達成のための助成
---------	--

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動に対する補助金交付211,200円 ・中学校部活動の外部指導者に対する謝礼800,000円、保険料12,400円
-------	--

事業の課題	外部指導者の確保
-------	----------

今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業は、継続して行っていく。 ・近い将来、部活動の地域展開や合同部活動の計画もあるが、当面は土日のみの予定なので、平日の部活動はしばらく従前どおり行っていく。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	部活動に必要な機材購入費の補助を行うことにより、安全に部活動に取り組んでもらえる。しかし外部指導者の確保、高齢化が課題としてあり、改善を要するものである。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	部活動運営の支援事業となっており、部活動外部指導者も本来ボランティアであることから、一定の謝金を支払い、指導者を確保するためにも、引き続き必要な事業であると考え。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	学校給食センター運営費
------	-------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	111	09	05	03	33	学校給食センター運営費

事業期間	平成28年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	74,068	112,240	0	0	0
補助事業名					

【評価指標 (KPI) ・実績値】

項目	対象客体や金額などは努力値ではないため目標値等無し				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	2	4	4
二次評価	5	4	4	1	5

事業の実施理由	保護者の経済的負担軽減のため	
事業の概要	小鹿野町学校給食センター運営にかかる事業費	
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 年数が経過することにより、保護者等にとって補助事業の実施が当たり前になり、「子育て支援の町」の印象が薄くなる懸念される。 事業開始から10年を迎えようとし、調理器具や設備等に故障が多々発生している。予見できない物も多く修繕に多額の費用がかかる場合がある。 旧調理場より移動して使用している器具(瞬間冷却器)については、導入から13年以上経過しているため更新を検討する時期を迎えている。 	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の手厚い町として、これまで以上にアピールを行い、若者世代の町外流出の歯止め及び町への移住定住希望者の魅力につなげていく。 地場産食材の利用を推進しより安全で安心できる給食の提供を目指す。 	

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	次年度以降活動を通じて、子育て支援行う上で必要性のある活動していく	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	子育て支援の1つとしての学校給食の無償化を全国に先駆けて行っている事業である。アレルギー対応や食材費等の高騰などの課題もあるが、食育を行っていく上でも必要な事業である。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	生涯学習まちづくり推進事業費
------	----------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	113	9	04	01	23	生涯学習まちづくり推進事業

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	50	50	0	0	0
一般財源	11,328	2,753	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	生涯学習講座、家庭教育推進事業の年間講座開催回数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 15	(目標値) 10	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5
実績値	(実績値) 18	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	120.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	5	4
二次評価	4	2	2	5	4

事業の実施理由	幼少期から高齢期までの世代ごとに、常に生きがいや目標を持って、豊かに生き生きと人生を歩んでいくための学習を支援するため。
---------	--

事業の概要	生涯学習講座、家庭教育推進事業の開催。
-------	---------------------

事業の課題	毎年恒例となっているものが多く、新規講座の講師や参加者の確保が今度の課題となっている。また、少子化の影響で家庭教育推進事業に関しては対象者の減少が続く。
-------	--

今後の方針	恒例となっている講座については、参加者数や満足度も高いため今後も継続していきたい。家庭教育推進事業については、少子化により対象者が減少しているため、取組み内容を検討する。また、生涯学習講座については、公民館事業と内容が似通っているため、統合していく。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	取組み内容の検討が必要なものや、公民館事業との統合が必要なものに関しては、検討していく。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	家庭教育事業はこどもの健全育成の場の提供になっているため継続していきたい。生涯学習事業については、公民館事業と関連が多いため事業統合を検討していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	4	[コメント]
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	・公民館事業との統合検討は事業発展に繋がらると思う。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (公民館事業との統合を進める)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和8年度より生涯学習講座については、公民館事業と統合する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	分館活動推進事業費
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	119	09	04	02	15	分館活動推進事業費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	312	312	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	各分館にて年間3回以上の事業の開催を依頼する。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 9	(目標値) 9	(目標値) 9	(目標値) 9	(目標値) 9
実績値	(実績値) 14	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	155.6%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	2	5	4
二次評価	4	5	2	5	4

事業の実施理由	減少しつつある町内の人々のコミュニティーが希薄・過疎化しないために各分館で事業（音楽鑑賞会、GG大会、伝統芸能伝承）を行う事により、地域の根ざしたコミュニティーの形成・継続を図る。
---------	--

事業の概要	小鹿野町公民館分館（長若分館、三田川分館、倉尾分館）各分館長による、地域コミュニティ継続のための事業実施
-------	--

事業の課題	分館長活動を継続していくための後任者の専任が課題となってくると思われる。
-------	--------------------------------------

今後の方針	各分館事業を継続できるよう必要な支援を行っていく。
-------	---------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	豊かな生活、地域に根ざしたコミュニティーの形成・継続に必要な事業のため、今後も各分館では事業の継続をする必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	地域コミュニティー活動を積極的に実施しているため継続していきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	・イベントのマンネリ化と、参加者の固定化が散見される。発展的な展開に移行するため、分館長同士の情報交流を促進し、イベントのアイデアを更新できるようにする。地域の「やる気・アイデア」応援事業とのコラボなども工夫していただきたい。
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	文化センター施設整備費
------	-------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	121	09	04	02	39	文化センター施設整備費

事業期間	令和6年度 ~ 令和7年度	事業終期	令和7年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	38,500	188,100	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	過疎対策事業債
-------	---------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野文化センターホールLED化を実施する。(進捗率)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
目標値	0.3	1	—	—	—
	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
実績値	0.3				
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	3	4	2	4
二次評価	5	2	2	2	1

事業の実施理由	小鹿野文化センター照明は設置から40年経過しており、経年劣化や専用部品の生産終了により今後不具合が生じた際に対応が困難である。また、文化センターホールは町事業や例年使用している団体があるため、事故や不具合を未然に防ぐため改修が必要である。
---------	---

事業の概要	小鹿野文化センターホール施設設備改修(令和6・7年度 小鹿野文化センターホール照明改修)
-------	--

事業の課題	新規設備になるため、改修請負会社及び舞台業務委託先と操作方法を確認し、差異が生じないよう徹底する。また、工事期間中はホールが使えないため、利用の調整が必要である。
-------	---

今後の方針	本年度で完成するよう業務を執り行う。
-------	--------------------

【1次評価結果】

評価点計	15	【コメント】 小鹿野文化センターは築40年以上経過している。また、多くの町民、文化団体が活動の拠点としているため、館内外の毎年の点検・修繕が必要となる。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	---	---------------------------

【2次評価結果】

評価点計	12	【コメント】 文化センターホールの改修が令和7年度で終了するが、施設が老朽化しているため、改修については継続的に実施する必要がある。	今後の事業方針 D 事業廃止
------	----	---	-------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	1	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・完了したため。 ・老朽化対策へのシフト
1...事業自体見直し	1	4...現状維持	4	
2...事業内容見直し	1	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	各種講座等開催費
------	----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	122	09	04	02	69	各種講座等開催費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	155	155	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	講座開催を年間16講座以上行う				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 16	(目標値) 16	(目標値) 16	(目標値) 16	(目標値) 16
実績値	(実績値) 17	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	106.3%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	5	3
二次評価	4	2	2	5	4

事業の実施理由	町民が新しい趣味を開拓したり、趣味を通じて新しい交流やコミュニティを形成する場を提供するため。文化的活動の発表場所を設け、更なる活動への励みと発展の機会をつくるため。また、町民の芸術への興味・関心を高めるため。
---------	---

事業の概要	町民に生涯学習の場を提供するとともに、健康の保持及び増進を図るため、様々な講座を開催する。また両神地区文化団体を中心とした「ふる総文化展」を開催し、文化的活動、生涯学習の発展の場として寄与していく。
-------	---

事業の課題	通例で講座を行っているものが多いが、毎年いくつか新規の講座を行えるようにしている。特に好評だった講座については恒例化している。通例で行っている講座についても講師や受講者の高齢化に伴い、人数不足による講座の中止や、新しい講師を探している状況となっている。
-------	--

今後の方針	新しい講座の開拓を行う。興味・関心を持つ人が増えるようであれば、新たな公民館クラブ等へ昇華させるための手助けを行う。文化展については今後とも引き続き行う。新規講座で文化展へ出展できるようなものがあれば、出展の打診を行う。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	今後も公民館講座及び文化展を開催する。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	町民の文化活動に必要である。事業実施に当たっては、中央公民館事業と連携をして実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	学校図書館支援事業
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	123	09	04	06	63	学校図書館支援事業費

事業期間	令和4年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,654	1,368	0	0	0
補助事業名					

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	調べる学習コンクール・読書館感想画コンクールの応募者数を児童数の45%とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 45	(目標値) 40	(目標値) 40	(目標値) 30	(目標値) 30
実績値	(実績値) 45	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	3	4
二次評価	4	2	2	3	4

事業の実施理由	児童生徒数の減少による読書活動推進の工夫と電子書籍の活用 令和5年度より図書館費の学校図書館支援事業費に含まれる学校図書費を本来の予算科目(学校教育費)へ戻す	
事業の概要	学校図書館の運営支援及び子供たちの学習活動等に係る事業の実施	
事業の課題	児童生徒数の減少による読書活動推進の工夫と電子書籍の活用 令和5年度より図書館費の学校図書館支援事業費に含まれる学校図書費を本来の予算科目(学校教育費)へ戻す	
今後の方針	児童生徒へのきめ細かい読書活動支援及び調べ考える力を養う学習支援を実施していく	

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	小・中学校図書室の運営及び読書活動等の支援を実施していく中で、本を読み解く力や調べ考える力、情報を探す力が身につくことから、工夫しながら継続して実施する必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	小・中学生の本を読み解く力や調べ考える力、情報を探す力が身につくことから、図書館事業と必要である。実施内容については改善しながら取り組んでいきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	5	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	アートプロジェクト補助金
------	--------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	07	02	01	05	13	企画事務費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	1,000	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,000	2,000	0	0	0

補助事業名	コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり助成事業)
-------	----------------------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	アートプロジェクトイベント実施回数年1回以上				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1
実績値	(実績値) 3	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	300.0%	0.0%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	5	2	5	4
二次評価	4	5	2	5	4

事業の実施理由	小鹿野町の伝統文化である歌舞伎を現代サーカスパフォーマンスを取り入れた地元アーティストと共に新たな創出を生み出すことで、若い世代や新たな層を取り込み話題性を持たせることで関係人口や定住、移住に繋げる。
---------	--

事業の概要	小鹿野出身のパフォーマーである村岡友憲氏が中心となって立ち上げた小鹿野アートプロジェクトに対し補助金を交付する。 【必要経費】 補助金 2,000千円
-------	--

事業の課題	関係人口創出には繋がったが、最終的な目標の定住、移住までどれだけ繋げることができるか。また、若い世代を取り込むための方法を検討する必要がある。
-------	---

今後の方針	小鹿野アートプロジェクトの拠点を整備しつつ、引き続き町内の関係者と町外の方との関係性を軸にアートを通じた地方創生を創出していく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	20	[コメント] 本事業は、地元住民が主体となって発案企画、制作まで実施していることから、今後も地域の活力を活かしながら、コミュニティ形成と地方創生に取り組んでいく。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【2次評価結果】

評価点計	20	[コメント] 町に新たな文化の流れを創る意味からも、アートプロジェクトの活動を支援する必要がある。アートプロジェクトの団体が、将来的にどのようなゴールを目指しているのか、それに対して町としてどのような支援が必要なのか、明確にする必要がある。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	---	---------------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止した方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】 ・ゴールを確認してほしい
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	4	
2...事業内容見直し	2	5...事業拡大	0	
外部評価結果 現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	学校教育課

【基本情報】

事業名称	小学校芸術鑑賞会実施事業(前 小学校合同事業実施事業)
------	-----------------------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	106	09	02	02	46	小学校芸術鑑賞会実施事業(前 小学校合同事業実施事業)

事業期間	令和元年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	芸術鑑賞会(児童)参加率(%)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	2	2	4	4
二次評価	4	2	2	4	3

事業の実施理由	学校行事において芸術鑑賞会を開催することにより、小学生の児童に、感性・想像力、情緒や心の豊かさを育て、社会性やマナーを学び、学習の幅を広げる。
---------	---

事業の概要	小学校で実施する芸術鑑賞会開催の補助金
-------	---------------------

事業の課題	■内容の選定児童の発達段階に合った内容や演目を選ぶ必要がある。(興味を持ちやすく、理解が難しいもの)
-------	--

今後の方針	児童が様々な芸術等の機会に触れられるように継続して実施していく
-------	---------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	歌舞伎に触れる機会には恵まれているが、歌舞伎以外の多種多様な芸術を鑑賞する経験には乏しく、本事業は貴重な経験を得る機会である。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	芸術鑑賞会は子どもたちの心を豊かにし、感性や表現を育てる大切な教育活動であるため、今後も継続して事業を実施していく必要があると考える。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・音楽芸術など低予算でもでき回数を増やせるよい。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	7	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	おがの化石館維持管理費
------	-------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	115	09	04	03	17	おがの化石館維持管理費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,799	5,479	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	おがの化石館来館者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 8,000	(目標値) 8,500	(目標値) 9,000	(目標値) 9,500	(目標値) 10,000
実績値	(実績値) 6,659	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	83.2%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	4	4
二次評価	5	4	2	4	4

事業の実施理由	開館から30年以上経過し、老朽化している箇所や展示内容の更新が必要である。
---------	---------------------------------------

事業の概要	おがの化石館の維持管理業務
-------	---------------

事業の課題	開館から30年以上経過し、老朽化している箇所や展示内容の更新が必要である。
-------	---------------------------------------

今後の方針	建物改修及び展示改修を行い、来館者サービスの質を上げ、施設利用を増やす。
-------	--------------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	秩父地域はジオパーク秩父としても活動しており、当施設はその主要拠点施設にもなっており、個人での利用のほか、学校等教育団体や各種メディアでも取り上げられるなど、成果がでているため、今後も実施する。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	化石館については、天然記念物に指定されている『ようばけ』が近くにあり、連携した活用が求められている。さらに魅力をアップする取り組みを実施する。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	[コメント]
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	7	・展示品には大きな価値を感じる。PR不足で一般客や町民を呼び込めていないのが残念。一般客向けに交差点等に大看板を設置するとか、町民一回無料券の配布などで、周知拡大をはかってほしい。
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	(A) 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	指定文化財管理費
------	----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	116	09	04	04	17	指定文化財管理費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,819	10,548	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	指定文化財件数を維持する				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 141	(目標値) 141	(目標値) 141	(目標値) 141	(目標値) 141
実績値	(実績値) 141	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	5	4
二次評価	5	4	2	5	4

事業の実施理由	今後、指定文化財の保存修理や維持の費用負担が人口減によって難しくなることが見込まれる また、文化財を保存及び公開する施設が確保できていないことが課題ある。
---------	--

事業の概要	町内の指定文化財【国(1件)県(22件)町(118件)合計141件】の管理(修理・公開・調査等) 補助金交付事業
-------	---

事業の課題	今後、指定文化財の保存修理や維持の費用負担が人口減によって難しくなることが見込まれる また、文化財を保存及び公開する施設が確保できていないことが課題ある。
-------	--

今後の方針	今後も適切な保存等に努めていく
-------	-----------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
21	指定文化財は、国・県・町で審議されその価値を指定されたものであり、地域の歴史を伝える貴重なものである。今後も永続的に保存していくため、事業を実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	指定文化財の多くは地域住民により管理されている。後世に残すためにも必要な支援を実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	[コメント]
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	指定文化財写真展とか、町民や中高生による文化財めぐりツアーとか、町民が地元文化財知識を高める活動が必要であると考えます。
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	歌舞伎のまちづくり事業費
------	--------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	117	09	04	04	23	歌舞伎のまちづくり事業費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,680	4,538	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	歌舞伎・郷土芸能祭の来場者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 1800	(目標値) 1400	(目標値) 1400	(目標値) 1400	(目標値) 1400
実績値	(実績値) 1800	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	5	4
二次評価	4	3	2	5	4

事業の実施理由	少子高齢化を伴う人口減少により、担い手が不足している
---------	----------------------------

事業の概要	○歌舞伎・郷土芸能祭の開催、地域館文化交流公演等 ○歌舞伎伝承活動補助金(小鹿野・十六・津谷木・上飯田・小森・奈倉・子ども) ○歌舞伎用具等の整備 歌舞伎上演に必要な衣裳等の整備を行う
-------	--

事業の課題	少子高齢化を伴う人口減少により、担い手が不足している
-------	----------------------------

今後の方針	貴重な文化遺産として保存・活用するとともに、本町のシンボルとして、より多くの人たちに認知されるように努める
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	令和6年度の全国地芝居サミットの開催や令和7年度の全国植樹祭に係る上演など、小鹿野を代表するものとして、全国に知られている。今後も地域文化の活性化を図る。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	歌舞伎は町を代表する伝統芸能であり、活動の継続には町の支援が必要である。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

意見内容	回数	コメント
0...廃止の方がよい	0	・郷土芸能として小鹿野まつり音頭民謡もぜひ広めていきたいと思う。健康にもよいと思う。 ・担い手不足対策に町外者に門戸は開けないか？
3...他事業と統合検討	2	
1...事業自体見直し	0	
4...現状維持	4	
2...事業内容見直し	0	
5...事業拡大	1	
外部評価結果		
現状維持		

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	スカイトレイン管理運営費
------	--------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	63	06	01	03	21	スカイトレイン管理運営費

事業期間	平成17年 ~ 令和8年	事業終期	令和8年度
------	--------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,406	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標 (KPI) ・実績値】

項目	使用料				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 3,500 千円	(目標値) 3,500千円	(目標値) 3,500千円	(目標値) 3,500千円	(目標値) 3,500千円
実績値	(実績値) 2,451 千円	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	70.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	1	1	1	1
二次評価	2	2	2	2	2

事業の実施理由	歳入が年々減少している。また車体は購入から20年以上経過しており、修理のための交換部品を確保することができない。 令和6年度:2,451千円 令和5年度:2,600千円 令和4年度:3,077千円 令和3年度:3,138千円
---------	--

事業の概要	秩父ミュージックパーク内で運営しているスカイトレインの維持管理を行っている。
-------	--

事業の課題	歳入が年々減少している。また車体は購入から20年以上経過しており、修理のための交換部品を確保することができない。 令和6年度:2,451千円 令和5年度:2,600千円 令和4年度:3,077千円 令和3年度:3,138千円
-------	--

今後の方針	廃止のタイミングについて検討
-------	----------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
6	車体が故障して廃止となる前に計画的に廃止したい。 廃止の場合には、昔(時期不明)廃止しようとした際に県から止められたことがあるとのこと(現場より)なので県に相談する。	D 事業廃止

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
10	スカイトレインが壊れたら廃止したい。	D 事業廃止

【外部評価委員による意見】

0…廃止した方がよい	2	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	4	4…現状維持	1	・町の計画通り ・スカイトレインはミュージックパークの象徴のひとつであり、事業継続の可能性をさらに追求していただきたい。
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果 廃止した方がよい (維持管理費がかかっていることから計画的な廃止へ)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
スカイトレインの寿命が切れる前に廃止する方向で検討。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	サイクリングセンター管理運営費
------	-----------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	64	06	01	03	23	サイクリングセンター管理運営費

事業期間	平成17年 ~ 令和8年	事業終期	令和8年度
------	--------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,407	0	0	0	0
補助事業名					

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	なし				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 12,000 千円	(目標値) 12,000千円	(目標値) 12,000千円	(目標値) 12,000千円	(目標値) 12,000千円
実績値	(実績値) 9,600 千円	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	80.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	3	3	3
二次評価	3	3	3	3	3

事業の実施理由	歳入が年々減少している。現場の感覚では、昔ほど子供が外遊びをしなくなったのか、子供用一般自転車の貸し出しが減っているとのこと。 令和6年度：9,600千円 令和5年度：9,766千円 令和4年度：11,181千円 令和3年度：13,814千円
---------	---

事業の概要	秩父ミュージズパーク内で運営しているサイクリングセンターの維持管理を行っている。
-------	--

事業の課題	歳入が年々減少している。現場の感覚では、昔ほど子供が外遊びをしなくなったのか、子供用一般自転車の貸し出しが減っているとのこと。 令和6年度：9,600千円 令和5年度：9,766千円 令和4年度：11,181千円 令和3年度：13,814千円
-------	---

今後の方針	貸出し数を増やす方法を検討する
-------	-----------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	プールの閉業等により、園全体の来園者数が減少する中で自転車の貸出し数を増加させることは難しく、貸出口を1箇所にする等、歳出を減らす方向で検討したい。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	ミュージズパークを訪れる方の中で利用が非常に多いため、引き続き運用したい。スカイトレインが壊れた時点で廃止することを考えると当事業は残す必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	[コメント]
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	3	・一回目の来園時はスカイトレイン、二回目はサイクリング、三回目はゴーカート…と、家族連れ来園リピーターを生み続けるための貴重なアイテムの一つだと思う。持続的な維持継続をお願いしたい。
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

※委員1名未評価

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	(A) 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	フットサル場管理事業
------	------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	65	06	01	03	24	フットサル場管理運営費

事業期間	令和6年度 ~ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	252	254	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	年間利用者数50人				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 50	(目標値) 50	(目標値) 50	(目標値) 50	(目標値) 50
実績値	(実績値) 28	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	56.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	2	4
二次評価	3	2	2	2	4

事業の実施理由	改修後年数が過ぎてきていることから今後、コート、フェンス、更衣室、トイレ等の改修等費用が増加する可能性がある。
---------	---

事業の概要	国民宿舎両神荘の付帯施設であったテニスコートの老朽化により平成21年に現在のフットサルコートへ改修している。貸出し、料金徴収、日常的清掃等は両神荘で実施。
-------	---

事業の課題	改修後年数が過ぎてきていることから今後、コート、フェンス、更衣室、トイレ等の改修等費用が増加する可能性がある。
-------	---

今後の方針	年間利用者数とすれば多くはないが、ある程度安定的に利用されているため、引き続き維持管理を行って行く。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
13	現状では、多額の費用が必要となっている訳では無いため現状を維持できるよう管理することが必要。ただし、施設の状況により違った目的で利用できる施設等に検討する可能性も捨てきれない。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
13	両神荘宿泊の方の為にも、維持管理に多くの費用がかかっているわけではないため現状維持したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	・宿泊者の利用数なのか。 ・PR強化してもらいたい。
2...事業内容見直し	1	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	スポーツ振興費
------	---------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	118	09	05	01	17	スポーツ振興費

事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,237	4,702	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	スポーツ団体及び地区運動会等の補助件数を11回を目標にする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 11	(目標値) 11	(目標値) 11	(目標値) 11	(目標値) 11
実績値	(実績値) 9	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	81.8%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	4	4
二次評価	5	5	2	4	4

事業の実施理由	町民の健康増進や青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化、さらには地域経済への波及効果など、スポーツを通じた多面的な地域振興と住民の福祉の向上を図るため。
---------	--

事業の概要	小鹿野町スポーツ協会、小鹿野町スポーツ少年団、スポーツ大会、地区運動会及び秩父郡スポーツ協会等の事業支援を行う。
-------	--

事業の課題	各団体人口減少により、組織の若返りや運営ができなくなっている。
-------	---------------------------------

今後の方針	各団体の運営体制の調整を要する
-------	-----------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	町民の心身の健康増進や豊かな生活の実現、地域社会の活性化に向けて今後も必要な事業であると思われる。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
20	町民の心身の健康増進に必要な事業である。スポーツ少年団の活動においては青少年の健全育成に寄与している。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	[コメント]
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	5	
2...事業内容見直し	1	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	青少年健全育成対策費
------	------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	114	09	04	01	32	青少年健全育成対策費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6	116	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野町青少年育成推進協議会における非行防止パトロールの年間実施回数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 30	(目標値) 15	(目標値) 15	(目標値) 15	(目標値) 15
実績値	(実績値) 29	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	96.7%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	2	4	3
二次評価	2	1	3	4	3

事業の実施理由	青少年問題のもつ重要性に鑑み、地域社会における青少年の健全育成を図るため。
---------	---------------------------------------

事業の概要	青少年問題のもつ重要性に鑑み、地域社会における青少年の健全育成を図ることを目的として小鹿野町青少年育成推進協議会を設置。 その活動に必要な非行防止用具等の支援を行う。
-------	--

事業の課題	小鹿野町青少年問題協議会条例に基づいた青少年問題協議会の設置について生涯学習課が担当となっている。しかし、生涯学習課の業務内容では青少年問題の把握がしづらいため、速急な対応ができない。 そのため、業務内容がより青少年に近い所に担当課として対応して頂く必要がある。
-------	--

今後の方針	小鹿野町では青少年問題協議会で対応が必要な事案が少なくとも5年以上発生していない。 秩父市では、他の組織で対応のため協議会に関する廃止条例を制定。 小鹿野町生涯学習課としては、業務内容が青少年により近い所に協議会の担当課になって頂く。あるいは青少年問題協議会条例の廃止条例の制定を検討する。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
13	青少年問題協議会が必要となる事案が発生していない以上、小鹿野町青少年問題協議会条例の廃止条例の検討が必要となる。条例を残す場合は、より青少年に業務内容に近い所に担当課になって頂く必要がある。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
13	事象が発生した場合には対応する協議会が必要である。しかし、生涯学習課の業務範囲では問題の把握ができないのが実情である。実際に起きた場合にも対応ができないかもしれない。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	3	[コメント]
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	2	・これまでの活動の成果として問題発生が防げているのか、活動の有無にかかわらず問題は発生しないのか、パトロール実施者と青少年に聞き取り調査して判断していただきたい。 ・廃止ではなく他事業との統合等はないか。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (ヒアリングを実施し他事業との統合含め見直し)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	小鹿野町青少年問題協議会条例に基づき予算を確保しているが、問題事案がないため委員会は組織していない。 また、小鹿野町青少年育成推進員協議会は埼玉県より依頼を受け設置しているため、統合ではなく単体の事業として継続する方針。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総務課

【基本情報】

事業名称	小鹿野町山村留学支援事業
------	--------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	05	09	01	02	10	小鹿野町山村留学支援事業費

事業期間	平成25年度 ～ 令和7年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,500	4,250	0	0	0
補助事業名					

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	山村留学生の受入数を毎年5名以上とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 4	(実績値) 2	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0
達成率	80.0%	40.0%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	1	1
二次評価	3	2	2	1	1

事業の実施理由	山村留学生を受入れ、サポートすることにより、小鹿野高等学校の生徒数の増加と地元出身生徒との交流を促進し、小鹿野高等学校及び小鹿野町の活性化を図る。
事業の概要	補助事業者であるNPO法人 秩父盆地野球振興会へ補助金を交付し、野球部外部指導者への報酬、宿泊交通費の助成や山村留学生の昼食の補助等を行っている。
事業の課題	小鹿野高校野球部もここ数年結果が出ず、野球による生徒集めも限界を迎えている。また、私立高校の授業料無償化や町内へのバスでの送迎を行う学校などにより県立学校離れが進んでおり、山村留学希望者はもとより小鹿野中学校からの入学者の減少が著しい。
今後の方針	小鹿野町としての両神荘への山村留学生の受入れ及び学校給食の提供についての支援は、令和7年度入学生が卒業する令和9年度までとすることを県教育局へ伝えたと、県教育局も令和8年度から小鹿野高校での山村留学生の受入れは行わないことと決定した。

【1次評価結果】

評価点計	9	[コメント] 山村留学生の減少傾向にある反面、町が負担する支援金額が増加傾向にあることから今後の見直しが必要である。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	---	---	-------------------------

【2次評価結果】

評価点計	9	[コメント] 今回、小鹿野高校及び秩父盆地野球振興会との協議を進め、山村留学制度の方向性を定めた。次年度の国民宿舎への受入れ中止や指導者への補助については、2年後の夏大会までとし、改善を進めていきたい。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	---	--	-------------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	3	4...現状維持	1	
2...事業内容見直し	3	5...事業拡大	0	
外部評価結果 廃止の方がよい				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	県事業としては令和7年度で終了となり、令和8年度から新規留学生の受け入れは行わない。町としては在校生が卒業する令和9年度まで支援を継続する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	小鹿野高校支援事業
------	-----------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	08	02	01	05	14	小鹿野高校支援事業

事業期間	平成30年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	205	800	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野高校入学希望者の増加				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 33	(目標値) 35	(目標値) 37	(目標値) 40
実績値	(実績値) 30	(実績値) 27	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率		81.8%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	1	2	2	3
二次評価	4	1	2	2	3

事業の実施理由	包括連携協定に基づき、両者の連携と協力により、双方の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある地域社会の形成と発展に寄与する。
---------	--

事業の概要	小鹿野高校魅力化プロジェクトの一環として、総合的な探究の時間に要する費用の補助及び、路線バスの減による公共交通を利用するための補助を行う。 【必要経費】 高校魅力化プロジェクト 補助金 200千円 公共交通支援 補助金 600千円
-------	--

事業の課題	総合的な探究の時間では、1年次から3年次まで通して、町の課題や情報発信等に取り組んでいるが、学年によっては取組む活動内容に温度差がある。
-------	--

今後の方針	少子化により小鹿野高校生の生徒数が減少してきていることから今後、学校に対してどのように支援していくのか検討する必要がある。
-------	---

【1次評価結果】
評価点計

12	[コメント] 小鹿野高校への支援については、学校との調整を行ったうえでどのような支援が地域活性化に繋がるのかを検討していく必要がある。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
----	--	-------------------------

【2次評価結果】
評価点計

12	[コメント] 町にとって、小鹿野高校を存続させることは、活性化の一助となっている。そのため、事業は継続する必要があるが、包括連携協定では双方の課題解決に対して活動することとしているので、もう一度原点に戻り、取組を見直す必要がある。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
----	--	-------------------------

【外部評価委員による意見】

0・・・廃止の方がよい	0	3・・・他事業と統合検討	1	【コメント】 技術や資格をとる近道となる改革を考えてほしい。 ・皆野高校廃校に対応する受け皿として、小鹿野町と小鹿野高校の魅力を一層磨き、発信をすべき時と考える。
1・・・事業自体見直し	1	4・・・現状維持	1	
2・・・事業内容見直し	4	5・・・事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (高校支援が地域活性化に繋がる取組を検討)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 Ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	高校との調整を図りながら、総合的な探究の時間等に必要事業費を検討する。学校、地域、町の相互関係の構築に努めてく。